



第2回平塚市博物館 公募写真展

写真募集

変わりゆく地域の姿を未来に！！！！
地域の自然や文化についての写真を募集します。
優秀・入選写真は特別展で展示するだけでなく、
博物館資料として保存し、ひろく活用します。

募集要項

- 課題 「相模川流域の自然と文化」
相模川流域各地での生活の様子や自然の姿の写真を募ります。
(例えば、農業や漁業などの仕事の様子、祭り、年中行事や野鳥の生態、四季の草花など博物館資料として活用できる写真)
- 募集期間 昭和63年11月1日から昭和64年1月31日(必着)
- 応募作品 カラープリント、モノクロ写真、組写真のいずれかに題名をつけて応募してください。
<サイズ>キャビネ相当サイズ(優秀・入選作品は博物館で引伸しをして展示します)
<撮影年月>撮影の年月日が明らかな写真ならば撮影期日は問いません
<応募点数>1人何点でもご応募ください
※応募作品の返却はいたしません
- 応募方法 応募票(博物館、公民館、図書館、市役所入口など各所におく)の所定事項を記入し、作品に添えて博物館に郵送、またはご持参ください
- 賞 優秀作品 10点 入選作品 20点
(優秀作品、入選作品にはそれぞれ賞品を贈呈します)

- 審査員 須藤功氏（民俗写真家）、升水滋氏（平塚写真連盟会長）、および主催者が委嘱する審査員
- 発表 応募者各自に郵便で通知します（2月上旬に発送）
優秀、入選作品への賞品の贈呈は指定する期日に、作品ネガと引き換えに行います。
ネガは「平塚市博物館 公募写真展—相模川流域の自然と文化—」の展示写真として引伸し後、希望者には返却します。
- 版 権 優秀、入選作品の著作権は平塚市博物館に属します。今回の特別展だけでなく、今後、展示や出版物などひろく利用させていただきます。
- 主 催 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町 12-41 TEL 0463-33-5111
- 協 賛 平塚写真連盟
神奈川県カメラ商協同組合湘南支部

入賞・入選作品の展示

「第2回 平塚市博物館公募写真展—相模川流域の自然と文化—」

優秀作品、入選作品を中心に次の通り特別展を開催します

○期 日 昭和64年3月19日（日）から4月23日（日）

○会 場 平塚市博物館 特別展示室

博 物 館 刊 行 物 一 覧

S 6 3.1 0.1 現在

(金額：円)		(金額：円)	
自然と文化2号	600	所蔵資料目録Ⅱ	350
自然と文化3号	700	所蔵資料目録Ⅲ	500
自然と文化4号	700	所蔵資料目録Ⅳ	400
自然と文化5号	550	所蔵資料目録Ⅴ	550
自然と文化6号	600	展示は語る	500
自然と文化7号	650	ガイド7 平塚四季の自然	500
自然と文化8号	650	ガイド8 平塚・石仏めぐり	550
自然と文化9号	700	博物館ガイド 相模川流域の自然と文化	
自然と文化10号	650		800
自然と文化11号	700	図録 相模湾の魚と魚撈	500
大磯丘陵の地質2	900	図録 街の生きものたち	500
大磯丘陵の地質3	900	図録 飛騨の民具	300
平塚鳥類誌	600	図録 神奈川の化石	800
王子台遺跡	500	図録 相模川流域の横穴墓	800
湘南植物誌1	800	図録 林の生きものたち	600
湘南植物誌2	800	図録 相模川流域の弥生時代	850
湘南植物誌3	800		
シダ植物標本目録	500	(お問合せは博物館管理係に)	

火星観測記(その1)

今世紀最期の大接近、とさわがれた火星だったが、今夏の天気もまた聞きしにまさる不順続きで、完全に水をさされた感となってしまった。

その中でとにかく、火星に関する生情報を収集しておかなくては、と雲の切れ間を見つけての写真観測が始まった。

7月31日

7月から始めようと計画していた火星、やっと晴れた。火星に最も適したフィルムを決めるため白黒2本、カラー1本撮影。フィルムの選定は、模様のコントラストが小さく、視直径が小さい火星が相手である。高感度だが粒子の荒いフィルムを使用すると、拡大率が大きくとれ、シャッターも早く切れる。シャッターが早く切れることは、地球の大気のゆらぎ(シンチレーションという)の悪影響を少なくできる。逆に低感度だが粒子の細かいフィルムを使う手もある。この場合は拡大

フィルムを使う。一応、400の感度を持つフジクロームを標準に用いる予定で、試験撮影を行った。感度は中くらいなので拡大率も白黒フィルムの間程度とした。

結果は白黒は低感度フィルムである2415が火星には相性が良く、カラーはもう一段拡大率を上げたほうが良さそうに思われる。

火星像は、最接近前のやや欠けた姿をしておりまだ大きな南極冠とその北側に見えるヘラス大陸大シュルチスが印象的だ。

8月22日

ずっと天気が悪く、8月も下旬になってしまった。最接近まであと1ヶ月、9月からのプラネタリウム投影に使う予定にもしているものの、何ともあきれた今年の夏の天気である。

今回は白黒は2415、カラーは高感度のタイプに変更して、フジの1600Dを使った。



7月31日撮影の火星

上部に白く見えるのが南極冠

率は小さくても、フィルムの粒子が細かいため、細部まで写る。しかし、シャッターが早く切れなくなるため、大気のゆらぎの影響を受けやすい。白黒フィルムはKodak Tmax 3200とTP 2415の2種類を試した。Tmaxは超高感度でISO 5万まで増感できるが粒子は荒い。TP 2415は感度はISO 100程度だが粒子は大変細かい。カラーはスライド用のリバーサル

火星像はずい分大きくなった。視直径が20秒を越えている。シレーンの海あたりを見ているが南極冠が小さい。8月初めに比べ、南極冠が縮小したことで、極冠の位置に偏りがあるためだ。

結果はカラーは良かったのだが、白黒は露出アンダーだった。透明度が悪く、光量が考えていたほどなかったからだろう。シレーンの海は次回だ。

(鷹)

*** 11月の行事***

11月

4	金	星を見る会
5	土	古文書講読会／土曜観察会
11	金	星を見る会
12	土	石仏を調べる会
13	日	自然観察会「横浜自然観察の森」
19	土	古文書講読会／土曜観察会
20	日	特別展 記念講演会「植物写真の撮り方」
26	土	石仏を調べる会
27	日	相模川を歩く会／体験学習「和紙づくり」

- ・特別展「神奈川の植物」：20（日）まで
- ・寄贈品コーナー「サマーセミナー展」
（1～29）まで
- ・プラネタリウム：望遠鏡新時代
（5～12／25）まで

12月

2	金	星を見る会「木星と冬の星たち」
3	土	古文書講読会／土曜観察会
10	土	石仏を調べる会
17	土	古文書講読会
18	日	相模川を歩く会
24	土	石仏を調べる会
25	日	体験学習「おかざり作り」

- ・寄贈品コーナー：写真展「古い写真」
- ・プラネタリウム：「望遠鏡新時代」25日まで



●体験学習「おかざり作り」

稲わらを使って正月に飾る一文飾り、ゴボウジメなどのおかざりを作ります。

期日：12月25日（日） 10～15時

場所：博物館科学教室

定員：50名（多数の場合は抽選）

申込み：12月15日（必着）までに往復ハガキで

●体験学習「和紙づくり」

和紙づくりの技法と技術を学びます。

日時：11月27日（日） 9～15時

場所：科学教室

材料費（原料費等）：1人700円

申込み：11月17日までに往復ハガキで。希望者多数の場合は、抽選で20名。

●星を見る会「木星と冬の星たち」

望遠鏡で木星を観察したり、冬の星空を見ます。

日時：12月2日（金）18～20時

場所：博物館科学教室・屋上

参加自由：科学教室にお集まりください。

プラネタリウム案内

投 影 日	券発売開始時刻	回	投影開始時刻
土 曜 日	朝9時より 第1回、第2回の 券を同時発売する	第1回	14:00
		第2回	15:30
日 曜 日	朝9時より 第1回、第2回の 券を同時発売する	第1回	11:00
		第2回	14:00
火曜日	学 校 専 用		
水曜・木曜日	学 校・団 体 専 用		

Vol.13 No. 8 通巻147号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 〇3,000

「はくぶつかん」

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111